

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年4月14日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：松浦長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○松浦総務課長 それでは、皆様のお手元の広報日程に基づきまして、私の方から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1.原子力規制委員会について、(2) 番でございます。4月17日月曜日、午前10時半から臨時会議を開きまして、人事案件ですので非公開とさせていただきますけれども、議題として3つございます。

まず、議題の1番目でございます。こちらは先日の原子力規制委員会でも議論がございましたけれども、法案が改正されまして放射線審議会の機能が強化されたところでございます。このため、放射線審議会の委員につきましても増員を検討しておりまして、そのための選考について、臨時会議で議論をする予定でございます。

また、議題の2番目でございますが、炉安審、燃安審につきましても、今年の2月の原子力規制委員会におきまして、炉安審、燃安審の新たな役割として安全目標等の議論について指示があったところでございます。このため、両審査会とも委員の増員を考えておりまして、その選考について議論をするものでございます。

最後、議題の3番目でございます。こちらは原子力規制委員会設置法22条におきまして、緊急事態応急対策委員という、これは非常勤の方々ですけれども、学識経験者を中心に任命しているところでございますけれども、そちらの方々、現在、12人の方々が任命されておりますが、任期が5月の末でございますので、新たな委員の任命等の選考につきまして議論をする予定でございます。

続きまして、2ページ目でございます。2ページ目一番上、4月17日月曜日、(2) 番、第2回目になりますけれども、もんじゅ廃止措置安全監視チーム会合でございます。議題は、「議題1」とありますけれども、具体的に申しますと、前回の第1回の監視チームの会合で事務方から質問が出たことにつきまして、JAEAの方から回答があるとともに、今後の燃料取り出しの課題について、JAEAの方からお話を伺う予定でございます。

続きまして、4月18日火曜日、(3) 番の審査会合でございます。議題は2つございます。

まず、JAEAの試験研究炉でございますHTTRにつきまして、竜巻、火山等の外部からの衝撃による損壊の防止に関する基本的な考え方について、コメント回答をJAEAの方から

伺う予定でございます。

続いて、議題の2番目、同じく試験研究炉でありますJRR-3につきまして、多量の放射性物質等放出事故の拡大の防止につきまして、コメント回答をJAEAの方から伺う予定でございます。

私の方からは以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いします。

質問のある方は手を挙げてください。よろしいですか。

それでは、以上で本日のブリーフィングを終わらせていただきます。お疲れさまでした。

—了—